

平成 29 年度
日野市立図書館の運営の
状況に関する評価書
(平成 28 年度事業)

くらしの中に図書館を
—市民に役立ち、共に歩む図書館—

平成 29 年 9 月
日野市立図書館

目 次

1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	評価の目的・・・・・・・・	1
3	図書館の現状・・・・・・・・	1
	(1) 施設・・・・・・・・	1
	(2) 組織・職員・・・・・・・・	2
	(3) 主な業務・・・・・・・・	2
4	評価の実施方法・・・・・・・・	2
5	評価の対象・・・・・・・・	2
6	評価の結果・・・・・・・・	3
	事業別 図書館事業評価表・・・・・・・・	5～26
参考資料	I 図書館事業のあらまし・・・・・・・・	27
	II 日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱・・・・・・・・	45
	III 図書館協議会委員名簿・・・・・・・・	46

1 はじめに

平成 20 年 6 月に「図書館法」が改正され、図書館の運営の状況に関する評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めること、また、図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならないこととされました。

そのため、図書館では、平成 21 年 3 月 31 日に、「日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、平成 21 年度から図書館の運営状況に関する評価を開始しました。

2 評価の目的

この評価は、図書館の運営状況に関する情報を積極的に提供することにより、市民・利用者やその他の関係者との理解を深め、連携及び協力を推進し、市民・利用者に信頼される効果的な図書館運営の推進に資することを目的に行います。

この目的遂行のため、図書館は毎年 1 回、運営状況について評価を行い、その評価に関する報告書を毎年作成し、教育委員会に提出するとともに、市民に公表することとしています。その評価結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めていきます。

3 図書館の現状

(1) 施設

施設の名称	延べ床面積	現館の開館日	所在地	蔵書数
中央図書館	2,220 m ²	昭和 48. 4. 28	豊田 2-49-2	327 千冊
移動図書館	1 台 (20 駐車場)	昭和 40. 9. 21	同上	31 千冊
高幡図書館	1,358 m ²	昭和 55. 5. 11	三沢 4-1-12	100 千冊
日野図書館	422 m ²	昭和 55. 5. 18	日野本町 7-5-14	56 千冊
多摩平図書館	856 m ²	平成 16. 4. 1	多摩平 2-9 多摩平の森ふれあい館 1 階	122 千冊
平山図書館	412 m ²	平成 20. 4. 5	平山 5-18-2 平山季重ふれあい館 1 階	64 千冊
市政図書室	140 m ²	昭和 52. 12. 1	神明 1-12-1 日野市役所 1 階	48 千冊
百草図書館	759 m ²	平成 2. 11. 16	百草 204-1 ガーデンビュー石神 D2 階	72 千冊

(2) 組織・職員 ※平成 29 年 3 月 31 日現在

1 課 3 係（庶務・業務・奉仕）、6 分館

正規職員 34 人（うち司書 25 人）、

再任用職員 7 人（うち司書 5 人）

嘱託職員・臨時職員（週 30 時間換算） 30.4 人

(3) 主な業務

- ・図書館資料の収集、整理及び保存
- ・個人貸出、団体貸出
- ・読書案内及び読書相談
- ・レファレンス
- ・読書会、研究会、講習会、展示会等の主催及び奨励
- ・館報その他の読書資料の発行及び頒布
- ・図書館資料の図書館間相互貸借
- ・市内の学校への資料提供と協力
- ・地方行政資料の収集及び提供

4 評価の実施方法

評価の対象事業について、図書館の活動実績・自己評価を、図書館協議会に報告し、事業の説明会を実施しました。それに対し図書館協議会委員の意見をいただき、評価を行いました。

5 評価の対象

「第 2 次日野市立図書館基本計画」の基本方針の下での重点的な取組みから抽出した、下記 14 事業について評価を行いました。

○基本方針 すべての市民が利用しやすい図書館をめざします

【中央図書館リニューアル検討】

【第 3 次子ども読書活動推進計画の推進】

【乳幼児へのサービス】

【小中学生へのサービス】

【青少年へのサービス】

【学校支援】

【成人・高齢者サービス】

【障害者サービス】

【各館での取組み】

【広報】

○基本方針 市民が求める本や資料・情報を収集・保存・提供します

【資料の選択・収集】

【予約・リクエスト・相互貸借】

○基本方針 市民と資料・情報とを結びつけ、市民の暮らしを支援します

【レファレンスサービス】

○基本方針 地域・行政資料を収集・保存・提供し、日野市の歴史を未来に伝えます

【地域・行政資料（市政図書室）】

6 評価の結果

《図書館協議会の総括的意見》

平成28年度における日野市立図書館は、多くの事業を実施しているが、概ね適正かつ着実に行われている。ここにとりあげられている事業のほか、多くの小さなイベントが行われているが、これらについても着実に実施されていると思われる。

市立図書館の運営に当たっては、各年度の当初に設定した当該年度の事業目標について、それを評価し翌年度の事業展開に活かすことも考慮すべきである。さらに、各改善策については、何をどう改善するのか・したのか、という経過を明記することも必要と思われる。

中央図書館リニューアル計画の策定に当たって、図書館協議会への説明が十分ではなかったため、今後は、図書館協議会の意見を尊重するとともに十分活用されることを希望する。

また、中央図書館リニューアルプラン計画書の中で、基本理念・基本方針が言われているが、市民に対し新しい扉を開くのは、中央図書館のみではなく、移動図書館を含む市内のすべての図書館であることは忘れてはならないし、実現に向けて、進めていただきたい。

《図書館の自己評価》

平成28年度は中央図書館のリニューアルプラン基本計画及び基本設計を策定しました。職員による検討チームを設置し議論を重ね、市民との懇談会も2回行い、「扉をひらく」を基本理念とし、「ふと立ち寄りたくなり、人と出あえる図書館」「本が大好きな子どもが育つ図書館」「落ち着いた空間と豊富な蔵書を有し、広い世界につながるができる図書館」を目指した基本方針を策定し、児童室を2階、レファレンス機能を1階に移すことや、バリアフリー化の促進、喫茶コーナーの新設などを内容とするリニューアル基本

設計を作成することができました。この基本計画・基本設計を、今後実施に向け具体化するなかで、図書館協議会との意見交換の機会を十分に設けたいと考えます。

子どもの読書活動の推進については、平成27年度に策定した「第3次子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもたち自らが、成長や興味に応じて本の楽しさを発見し、学び考え生きる力を育む機会を持てるよう、様々な施策を実施しました。読書調査の結果、1か月の間に読んだ本が0冊と回答した割合（不読率）が中学3年生で42%であったことから、中学生への取組みの必要性がわかり、中学生と作家の交流事業を始めました。講演会の準備から中学生が行うことで、他校生徒との交流の機会ともなり、中学生による本の楽しさの発信を行うことができました。講演会当日における中学生の参加が少なかったことを課題とし、工夫をして継続していきます。

施設整備の面では、中央図書館の空調更新工事を行い、快適な環境の整備をすることができました。工事期間中は休館することなく、またサービスを低下させることなく、夏の猛暑前に工事を終えることができました。

これからの図書館がどうあるべきかを念頭に、多くの方々に利用してもらえそうなサービスを進めていくとともに、まだ利用されていない方にも情報の発信やPRに努めていきます。

今回の評価や意見を受けて、「第2次日野市立図書館基本計画」の取組みを継続・充実させるとともに、課題の解決や改善に努め、現在策定中の「第3次日野市立図書館基本計画」へと発展させていきます。

各事業における図書館の自己評価及び図書館協議会からいただいた評価・意見は、5ページ以降の評価表のとおりです。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

★図書館の目標

くらしの中に図書館を —市民に役立ち、共に歩む図書館—

★目指す図書館像(ビジョン)

- ①すべての市民が利用しやすい図書館をめざします。
- ②市民が求める本や資料・情報を収集・保存・提供します。
- ③市民と資料・情報とを結びつけ、市民の暮らしを支援します。
- ④地域・行政資料を収集・保存・提供し、日野市の歴史を未来に伝えます。
- ⑤読みたい、調べたい、学びたいという市民を応援します。
- ⑥資料や情報を介して、地域の人と人との交流を促します。

★平成28年度主要事業

(1) 中央図書館リニューアル検討

- ・公共図書館建築の一つのモデルとされる中央図書館を日野市の誇りとして永く活用するべく、耐震診断の結果に基づき耐震補強工事を行う。さらに開設50周年を迎えたことを契機にさらなる発展に向け、これからの中央図書館のあり方を検討し、室内空間をリニューアルするための基本設計を委託事業で実施する。

(2) 第3次子ども読書活動推進計画の推進

- ・子どもたち自らが、成長や興味に応じて本の楽しさを発見し、読書を通じて学び考え生きる力を育むことができるよう、「読書でひろがる ひのっ子の力」を基本理念に、次の3つの基本方針の達成を目指す。
 1. 子どもたちが、さらに身近に本と出あえる環境づくり
 2. 子どもたちが、自ら読書の楽しさを発信する取り組み
 3. 子どもと本をつなぐ活動をする人たちが連携する仕組みづくり
- ・健康課主催ママパパクラスにて、これから親になる方への、絵本の読み聞かせ案内と図書館PRを行う。
- ・小中学校へ調べ学習対応資料の貸出と搬送を継続実施する。
- ・中学生が本に親しみ、読書の楽しさを同世代に発信できるような取り組みを行う。
- ・「日野ヤングスタッフ」による取り組みを支援する。
- ・子ども読書の日にちなんだイベントを行う。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

○事業項目(主要事業)

(1) 中央図書館リニューアル検討		
	No.1 中央図書館リニューアル検討	7ページ
(2) 第3次子ども読書活動推進計画の推進		
	No.2 第3次子ども読書活動推進計画の推進	8ページ
	No.3 乳幼児へのサービス	9ページ
	No.4 小中学生へのサービス	10ページ
	No.5 青少年へのサービス	11ページ
	No.6 学校支援	12ページ

○事業項目(通常業務)

(3) 通常業務		
	No.7 成人・高齢者サービス	13ページ
	No.8 障害者サービス	14ページ
	No.9 資料の選択・収集	15ページ
	No.10 予約・リクエスト・相互貸借	16ページ
	No.11 レファレンスサービス	17ページ
	No.12 地域・行政資料(市政図書室)	18ページ
	No.13 各館での取組み(中央図書館)	19ページ
	No.14 各館での取組み(高幡図書館)	20ページ
	No.15 各館での取組み(日野図書館)	21ページ
	No.16 各館での取組み(多摩平図書館)	22ページ
	No.17 各館での取組み(平山図書館)	23ページ
	No.18 各館での取組み(百草図書館)	24ページ
	No.19 各館での取組み(移動図書館)	25ページ
	No.20 広報	26ページ

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	No.1 中央図書館リニューアル検討
事業の概要	職員を構成員とする「中央図書館リニューアル検討チーム」を発足し、中央図書館の課題や今後のサービス展開などを議論し、中央図書館の基本計画と基本設計を内容とする「日野市立中央図書館リニューアルプラン計画書」をまとめる。
事業の成果	「扉をひらく」の基本理念のもと、「ふと立ち寄りたくなり、人と出あえる図書館」「本が大好きな子どもが育つ図書館」「落ち着いた空間と豊富な蔵書を有し、広い世界につながるができる図書館」を目指した基本方針を策定した。策定にあたって、7名の職員による検討チームを設置。検討チームの会議を10回、検討チームに委託業者を入れた会議を6回開催。中央館の現状の分析から始め、現状ではできていないが、やりたいことを実現する方向の検討を重ねた。この会議のほかに理事者等の声を聴くとともに、7月17日（日）、7月25日（月）に中央図書館バックヤードツアーと市民懇談会を開催し、計画に反映させた。なお、参加した市民は17日が21名、25日が24名であった。基本方針を基に、児童室を2階に移し、現在2階にある調査・研究のためのレファレンス資料とともにレファレンス機能を1階に移すことや、バリアフリー化の促進、喫茶コーナーの新設などを内容とする中央図書館リニューアル基本設計を作成した。
図書館協議会の意見	・ 日野市立図書館の開設から50年が経過し、中央館をリニューアルすることを大いに評価する。 ・ 検討チームを立ち上げ、安全・安心の確保とサービスの向上に資する検討を行ったこと、市民の声を聞きながら、議論を重ねたことを高く評価する。 ・ 耐震補強工事を機に、すべての市民が利用したくなる中央図書館を早く実現し、進捗状況の発信を工夫し、より親しまれる図書館になればよい。 ・ 市民からの資料相談、資料検索ニーズに応えるため、レファレンスサービス、レフェーラルサービスに力を注ぐことができる体制を作り、図書館情報サービスを充実してほしい。 ・ 2階の児童室では、貸出サービスや読書案内・レファレンスサービスと共にフロアワークを積極的に実施し、フロアでのよみきかせやお話、ブックトークなどを随時行い、本好きの子どもが育つことを期待したい。
事業の課題と改善策	【課題】 ・ リニューアルに向けての基本計画と基本設計を策定してきたが、平成29年度は中央図書館の耐震補強工事の実施設計を行うための予算のみの確保となった。リニューアルに向けての実施設計の予算確保が課題である。 【改善策】 ・ 実施設計の段階で、リニューアルに向けての具体像を検討していくこととなるが、この際にも職員による徹底した議論や検討を行うとともに、図書館協議会をはじめ各関係団体や市民からも意見を聞いていく。 ・ その上で「ふと立ち寄りたくなり、人と出あえる図書館」「本が大好きな子どもが育つ図書館」「落ち着いた空間と豊富な蔵書を有し、広い世界につながるができる図書館」の実現を目指し、できることから始めていく。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	No.2 第3次子ども読書活動推進計画の推進
事業の概要	第3次子ども読書活動推進計画に基づき、取り組みを実施していく。 ①関係各課への進捗調査票を依頼、結果を情報共有。 ②地域のボランティア団体との情報共有。
事業の成果	① 計画内容の項目ごとの調査票を関係各課に依頼し、平成27年度の「進捗状況調査報告書」をまとめた。これにより、実施内容が可視化され、各課の情報共有と連携の目安になり、未着手の取り組みもあきらかになった。 ② 地域のボランティア団体の行事見学(1団体)や、情報共有(2団体)を行った。市民の方々の活躍の場を、図書館がどのように提供していくか、子どもの読書活動の推進にどう活かしていくのかを考え、平成29年度中の連絡会開催を目指す。
図書館協議会の意見	・ 進捗状況を調査し、全体で共有できるようにした「報告書」を作成したことを評価する。 ・ 「できなかったこと」「なぜできないか」を調査し問題点を分析してみることも大切。それは、第4次計画策定に役立つ。 ・ 数多くの施策が行われていることがわかる。保育園・幼稚園の先生方との連携や、小中学校の学校図書設備の充実・授業での取り組み、図書館見学などが大切である。 ・ 地域ボランティア団体との連携や、子どもと本をつなぐ活動に携わる人を増やす取り組みに期待する。 ・ 「子どもの貧困問題」とも関連して、「子どもの居場所」「子どもの悩みを聞く」に協力をしてもらいたい。
事業の課題と改善策	【課題】 ・ ボランティア団体との情報共有と連携。「子どもの貧困問題」における取り組み。計画策定後、平成27・28年度と実施したことの成果を振り返り、発展させるべきところや、未実施の部分を精査する。 【改善策】 ・ 乳幼児、小・中学生、青少年、地域へと多岐に渡るそれぞれのサービスについて、年齢に応じ関係各課やボランティア団体と連携して、さらに必要な取り組みを実施していく。そのために進捗状況の取りまとめ、情報共有が大事だと考える。図書館で行っている事業内容を見直し、工夫、さらなる展開を考え、ボランティア団体の活動内容などの聞き取り、情報共有を密にする。毎年行っている「子ども読書の日」にちなんだイベント等で、図書館の取り組みへの協力や理解、連携を進め子どもたちに還元する。また同時に、子どもたちが自ら読書の楽しみを発信する仕掛けを考えていく。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	No.3 乳幼児へのサービス
事業の概要	第3次子ども読書活動推進計画に基づき、乳幼児とその保護者へのサービスを行う。
事業の成果	関連部署との連携をこれまでより更に深め、乳幼児へのサービスを展開させた。 - 平成27年度に1回試行した健康課「ママパパクラス」での図書館利用案内を3回実施した。出生前からのアプローチが「ひよこタイム」等の乳幼児サービスに繋がっていく可能性を見いだせた。 - 関連部署との協働で作成する絵本リストは、第一歩として幼稚園との会議を持ち、情報共有を行いながら掲載する本の選定を行った。このことにより、今後の他関連部署との会議へと移行する土台作りができた。 - 児童館・学童クラブの職員の自主研修グループより依頼があり、乳幼児（おもに2、3歳）を対象とする読み聞かせについての研修を行った。 - 平山図書館から「子育てひろばぽっかぽか」への出張おはなし会、多摩平図書館から「多摩平子ども家庭支援センター」ミニ講座への出張・「たまだいら児童館ふれっしゅ」プチすくすくクラスへの出張など、複合施設である館の特性を活かした取り組みも引き続いて行った。
図書館協議会の意見	- 子どもが初めて本に接する乳幼児の段階は、特に重要であり、関連部署との連携による活動が実を結び成果をあげており、今後とも精力的に取り組んでいただきたい。 - 図書館の場所や、利用の仕方を知らない若い親も多い。ママパパクラスでの図書館利用案内は、結婚などを機に日野市へ引っ越して来た方へも図書館の貴重なアピールの場となり、今後も期待したい。 - 市民が生涯にわたって、市立図書館を活用し、読書に親しむきっかけづくりとして、本事業の推進・充実を図りたい。 - 図書館職員による「研修の実施」「出張によるおはなし会・講座の実施」など、図書館が扉を開いて外に出ていく活動がひかる。 - 唯一行われていない日野図書館でもおはなし会を行ってほしい。
事業の課題と改善策	【課題】 - 乳幼児を持つ保護者だけでなく、広く市民に乳幼児サービスについて理解してもらうことが必要である - 関連部署との連携をさらに深め、本と初めてであう乳幼児期の読書活動を支援していくことが重要である - 日野図書館でのおはなし会開催の要望にどのように応えるのか。 【改善策】 「ひよこタイム」とはどんな内容のものなのかわかりやすい内容で広報を行う。広報を行うことにより、未だこの時間について情報を得ていない保護者に来館を呼びかけると共に、一般の市民にも、乳幼児とその保護者の図書館利用を暖かい目で見守ってもらえるよう伝える。 - 関連部署に出向く際は、行事後、連携を行っていることがわかるような館内展示（紹介した本の展示）等を行う等して、相互の利用が増えるようPRする。 - 近隣施設の利用も含めて、どのような手法が可能か検討する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	No.4 小中学生へのサービス
事業の概要	第3次子ども読書活動推進計画に基づき、小中学生が本に親しめる環境を整備する。 ①小学生を対象として「学校訪問」を実施 市内小学校3年生のクラスを訪問して、市立図書館利用のガイダンスと3年生向けの本の紹介を行う。 ②中学生を対象として「中学生と作家の交流事業」を実施 中学生が読書への関心を高めるきっかけとなるよう、作家を招いて講演会を開催する。 ③小中学生の読書調査を実施
事業の成果	① 小学生対象事業「学校訪問」 市内の全17小学校の3年生のクラスを訪問して、市立図書館利用のガイダンスと3年生向けの本の紹介を行った。その際、図書館作成の「おはなしめいろ」を3年生全員に配布した。(「おはなしめいろ」は、3年生の興味をもちそうな本や読んでほしい本などを紹介し、その本を読むとわかるキーワードを穴埋めして楽しめるように図書館職員が作成したもの。2枚セット。)毎年継続して実施しているが、平成28年度は全小学校の3年生を訪問することができた(全46クラス)。訪問した学校の近くの図書館では、紹介した本についての問い合わせが増え、子どもたちが図書館へ来館して本を読むきっかけとなっている。 ② 中学生対象事業「中学生と作家の交流事業」 中学生が読書への関心を高めるきっかけとなるよう、中高校生に人気の作家・初野晴さんを招いて講演会を開催した(11月5日(土)七生公会堂にて)。市内の8中学校から選出された23名の代表生徒に講演会の企画から当日の運営まで携わってもらい、作家の講演をただ聴くのではなく、中学生と作家が交流できるものとなるよう、クイズコーナーなどの準備をし、当日の司会進行なども代表生徒が行った。平成28年度に初めて実施した事業である。講演会の参加者は小学生から70歳代の方まであわせて150名程だったが、一般中学生の参加は20名にとどまった。参加者のアンケートによる感想はおおむね好評であり、代表生徒たちからは達成感、充実感、さらなる読書への意欲も感じることができた。 ③ 小中学生の読書調査 小学校4～6年生、中学校1～3年生への読書調査を実施した。不読率(1か月に1冊も本を読まなかった人の割合)の推移等、子どもたちの読書状況の把握に努めた。
図書館協議会の意見	・ 小中学生の読書の「質」をどう高めるかに取り組むことも重要。子どもの読書にとって「なにを読むか」「どう読むか」にそが肝要。 ・ より正確なデータを収集するため、ネットワークシステムを活用して集計できないか。 ・ 小学校3年生の全クラスに「学校訪問」したことを評価する。 ・ 小中学生がクラブ活動などで忙しくなる中で、読書時間をどう確保するか、学校や児童館・学童クラブとの協力関係に工夫が必要である。 ・ 小学生の頃と比べて図書館に足が遠のきがちである中学生対象の作家との交流事業は、中学生が自ら企画して事業を進める有意義な企画であり、継続させて実施してほしい。多忙な中学生を引き付けるためには、時期や時間・場所の工夫が必要である。 ・ 日野図書館でもおはなし会を行ってほしい。 ・ 科学の本の世界へいざなう科学あそびなどにも積極的に取り組んでいただきたい。
事業の課題と改善策	【課題】 ① 小学校への「学校訪問」について、小学校の授業の都合によって全学校への訪問が難しいこともある。 ② 「中学生と作家の交流事業」は、本来の対象である中学生の講演会への参加が少なかったため、もっと多数の中学生が参加できるような工夫が必要。 ③ 「読書調査」については、小中学生の読書状況の実態がわかるよう設問に工夫が必要。 ④ 「図書館でのおはなし会」について、日野図書館でのおはなし会開催には場所の確保が問題である。 【改善策】 ① 今後も、小学校の「学校訪問」については、できる限り全3年生を訪問していく。学校にも積極的に働きかけ(よびかけ)をしていく。 ② 「中学生と作家の交流事業」について、講演会の時期・時間・場所の設定には、中学生が参加しやすくなるよう検討するとともに、企画運営会議についても中学生が積極的に参加できるように工夫していく。 ③ 「読書調査」については、マークシート方式を導入するなど集計を効率的に行う。また、現場にフィードバックできるように設問を見直していく。 ④ 日野図書館でのおはなし会開催については、近隣施設の利用も含めて、どのような手法が可能か検討する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	No.5 青少年へのサービス
事業の概要	第3次子ども読書活動推進計画に基づき、青少年の読書活動を推進するため、市内在住・在学の高校生・大学生からなる「日野ヤングスタッフ」事業を継続する。「日野ヤングスタッフ」活動として、本の紹介イベント等を実施し、図書館や読書の楽しさを同世代に向けて発信する。
事業の成果	・ 高幡図書館に加えて、平山季重ふれあい館ブラウジングルームに、ヤングスタッフコーナーを設置した。 ・ 「BOOKパレードinとしょかんおはなしピクニック2016」に参加（平成28年4月24日開催） 一企画として、本の紹介イベントを行った。参加者11名。ヤングスタッフ4名。 ・ 「BOOKパレードwithめいせい書房『List』」（平成28年10月30日開催） 明星大学の愛好会「めいせい書房『List』」の学園祭企画に初めて参加した。「めいせい書房『List』」と共催で本の紹介イベントを開催し、ヤングスタッフが選んだ本の展示も行った。参加者16名。ヤングスタッフ5名。 ・ 実践女子大学図書館でのおすすめの本展示（平成28年11月12日～12日開催） 学園祭「常盤祭」の当日から1か月間、ヤングスタッフが選んだ本を展示した。 ・ 実践女子大学の学生との交流会（平成29年1月28日開催） 実践女子大学図書館職員と日野ヤングスタッフが企画立案し、初めて実施。学生と本の話を通じて交流した。参加者2名。ヤングスタッフ6名。 ・ 日野第二中学校でのBOOKパレード（平成29年3月10日開催） 1年生全クラス（5クラス）に向けて、おすすめの本を紹介した。参加者115名。ヤングスタッフ3名。 ・ イベント等をきっかけに、新たに3名が加入した。
図書館協議会の意見	・ ヤングスタッフが企画実施した事実だけでなく、活動によりスタッフたちがどう成長したかがこの事業の成果ではないだろうか。一部ヤングスタッフたちの同好会的活動にとどまらず、広く一般のヤングに対する「青少年サービス」に留意してほしい。 ・ 市内中学校校長会と連携して、第二中学校で行ったBOOKパレードの開催を広げてほしい。 ・ 旭が丘には首都大学東京がある。一緒にイベントなどを行うことはできないか。 ・ 中高校生へ読書の楽しさを発見してもらうため、市内の中高校とも連携し、さらに進めてほしい。 ・ 市内教育機関と協働し、青少年が主体となって進める本事業は今後、発展的な活動が期待できる。 ・ 「ヤングスタッフ」の増加と、活動が多彩になりつつあり、様々なイベントと協力したことを高く評価し、これからの発信を期待する。さらにメンバーが増え活動が活発になることを期待する。
事業の課題と改善策	【課題】 ・ 活動を通して、ヤングスタッフが達成感や自身の成長を味わうことができるよう留意する。 ・ 読書の楽しさ、図書館の魅力を、広く日野市の青少年へ伝えていく。 【改善策】 ・ 中学校でのブックパレードについては、より広げていけるよう、学校へアプローチしていく。 ・ 市内大学についても、ヤングスタッフの思いを尊重した上で、交流を深めていく。平成29年度は、初の試みとして、実践女子大学の学園祭「常盤祭」でイベントを行う予定である。 ・ イベント終了後や年度末にはヤングスタッフの感想等を聞き、次年度の活動へつなげていく。イベントやブックリスト作成等発信の方法を探っていく。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	No.6 学校支援
事業の概要	第3次子ども読書活動推進計画に基づき、学校図書館や教諭との連携を強化する。 ①教諭からの依頼により調べ学習用資料を搬送し、貸出を行う「学校搬送」の実施 ②小学校の学級文庫を補うための配本の実施（「本の森学級文庫」） ③情報を共有するため、司書教諭連絡会等への参加
事業の成果	①調べ学習用資料の搬送貸出 ・利用回数／小学校のべ107回（平成27年度 120回）中学校のべ7回（平成27年度 10回） ・貸出冊数／小学校4,341冊（平成27年度 4,950冊）中学校427冊（平成27年度 318冊） ・今年度は中学校への貸出が増加した。 ・搬送便を利用せず、先生が直接来館し、選書して貸出しすることもあった。 ・複数の学校から、同じテーマで同時期に依頼されることも多く、希望冊数を提供することができなかった。 ・搬送した資料を参照して、その後学校図書館で購入した学校もあり、学校図書館の選書にも役立っている。 ②「本の森学級文庫」配本 ・冊数合計 12,042冊（平成27年度 10,814冊） ・平成28年度は、小学3年生への配本冊数を30冊から約60冊に増冊し、充実を図った。（小学4～6年生はすでに増刷済） ③ 司書教諭連絡会（5月9日、11月7日）に参加し、情報の共有を図った。また、学校図書館の選書を行うにあたり参考となる図書の展示会を出版者の協力を得て6月8日に開催し、小学校13校から25名の参加があった。参加者のニーズも高い。
図書館協議会の意見	・教職員も子どもも市立図書館との結び付きを強く感じることができる事業である。引き続き、学校との関係が広がることを期待する。 ・司書教諭連絡会に参加して、情報共有や協力を行っていることは評価できる。 ・出版社の協力を得て行う図書の展示会は、学習に関わる新刊本を手にする場が少ない教員たちにとって好企画。学校図書館活用のきっかけ作りに役立つのではないかな。 ・児童・生徒が十分に利活用できるよう、学校図書館が自立して学習資料等を購入・所蔵することが肝要で、市立図書館に依存する形にならないよう配慮が必要である。まずは基本的資料を学校図書館が備え、毎年新しい資料を購入・所蔵できるようにし、それでも不足する場合は市立図書館が支援するのが望ましい。
事業の課題と改善策	【課題】 ・「学校搬送サービス」というものの自体はかなり周知されてきているものの、依頼のある学校、学年に偏りがある。引き続き事業のPRを行ない利用を促進する。 ・学校からの図書貸出依頼に対し、迅速に対応できるよう、図書館内の体制を整える。 ・配本事業を更に充実させる。 【改善策】 ・学校との各種連絡会で図書館から事業内容の説明を行う。また、司書教諭連絡会等で教諭とも話し合う中で、選書の助言も行うようにする。 ・サービス状況を定期的に係会で報告し、全職員への周知をはかる。各種サービスのマニュアルを作成する。 ・配本事業を更に充実させるため、低学年への配本冊数を増やす。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	No.7 成人・高齢者サービス
事業の概要	①高齢者向け資料を購入し高齢者へのサービスの充実を図る。 ②読書会を開催する。
事業の成果	① 高齢者向け資料の購入 ・主な購入資料…紙芝居24点(中央・高幡・多摩平)、大活字本61冊(中央・高幡・多摩平)、その他(パソコン入門書・老後に関する本等) ・紙芝居・大活字本は10月以降に購入しているが、1点当たりの年度内貸出回数が平均3～5回とよく利用されている。 ② 読書会の開催 図書館主催の連続講座「はじまりの読書会2016」を全6回(9/16、10/21、11/18、1/20、2/17、3/19)、高幡図書館読書会室で開催した。今年度は芥川賞受賞作6作品を取り上げた。継続して16名の参加者があり、講座終了後には参加者の自主的な読書会が発足した。
図書館協議会の意見	・ 高齢者へのサービスの充実を図るための資料の充実が行われ、利用に結びついていることは大変良かった。ますます高齢化社会が進むことを見通して、高齢者向けのサービスの拡充が求められてくると考える。 ・ 図書館主催の講座を機に自主的な読書会が発足したことを評価する。活動が継続するように図書館のサポートが必要である。 ・ 読書会を日野市立図書館の特徴にしてほしい。連続6回参加というのが妙と思うが、全6回参加できない人のために2回ぐらいのお試しの読書会を企画してはどうか。 ・ 高齢者向けコーナーの設置、推薦図書リストの発行など、膨大な蔵書の中から選びやすくするための方策はないか。 ・ 日野市内の高齢者施設の担当者に紙芝居も含め図書館の活用ができるように、事業の説明を行ってはどうか。実際に利用してる施設が見本になるようにしてほしい。本や雑誌を読みたい高齢者はいるが、大半はテレビを見せられているように思う。紛失が心配なら、リサイクル図書の活用でも良いのでは。
事業の課題と改善策	① 高齢者向け資料を購入し高齢者へのサービスの充実を図る 【課題】 ・ 高齢者向け資料の利用促進のための方策 【改善策】 ・ 展示コーナーで高齢者向け資料を紹介 ・ 高齢者向け資料のリストを作成し、館内・ホームページで紹介 ② 読書会を開催する 【課題】 ・ 全6回の読書会では、毎回参加は難しい ・ 自主的に発足した読書会の継続性のサポート 【改善策】 ・ お試し読書会の開催について検討する。 ・ 自主的に発足した読書会に対し、会場確保やPRなど図書館がサポートする。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	No.8 障害者サービス
事業の概要	新規音訳者を含む全音訳者の音訳技術、デージー編集技術のレベルアップを個別指導できめ細かく行い、合わせてデージー編集用の機材を購入し、安定的な製作環境を整える。
事業の成果	他の図書館では所蔵していない図書のデージー化を引き続き行っている。特に劣化が予想されるテープ図書のうち長編作品のデージー化を行った。また以前から利用者の要望があった当館所蔵の音楽CD目録のデージー版作成など利用者のリクエストに基づく多様な資料の製作を行った。その結果、製作したタイトルの録音総時間は311時間になった。(平成27年度は193.5時間)
図書館協議会の意見	・ 録音図書作成のための人材確保は大切な取り組み。音訳者の高齢化を受け、新規音訳者の募集、講習会開催の周知の必要性を感じる。 ・ さらに利用者の利便に工夫を。 ・ 多くの人は、デージーや点字図書などの存在を知らないように思う。障害者・高齢者に広く活用を広報することが大切だと思う。各図書館で、企画展などを行えないか。 ・ 障害者への差別解消が公的機関に義務付けられたことにより、様々な取り組みの一つとしての広がりを期待する。 ・ 視覚や聴覚等に障害をもつ人々へのサービスには、大変よく取り組まれており、また進展が図られており高く評価します。
事業の課題と改善策	【課題】 ・ 行っているサービスの質を今後も落とさないようにする。 ・ 必要であるのにサービスを受けていない方への広報。 ・ 安定したボランティア宅配のサービス提供。 【改善策】 ・ 点字を体験するイベントや展示を通じPRを進めていく。 ・ 障害福祉課で障害者サービスの利用案内を配布してもらったことにより、宅配サービスの利用申し込みが増加している。宅配ボランティアの募集について広報を進める。 ・ 学習障害・知的障害・発達障害の子どもたちが読書を楽しめるよう、マルチメディアデージー図書の収集、貸出も開始する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	No.9 資料の選択・収集
事業の概要	① 市民の現在及び将来の利用に応え、図書館として揃えるべき資料を効果的かつ効率的に収集し、適切な資料の選択・収集に努める。 ② 学校図書館支援のため、調べもの学習用図書を選書し購入する。
事業の成果	① 本の選択会議を週1回行い、資料を収集した。 ・図書受入冊数…38,142冊(うち購入33,970冊)、除籍…23,799冊、蔵書…820,006冊 ・購入雑誌…498タイトル ・視聴覚資料…136点(うち購入84点) ・地域資料…1,640冊(うち購入404点) ② 学校図書館の調べものに活用するため、調べもの学習用図書を399冊選書し、購入した。
図書館協議会の意見	・市民のニーズを把握する方法を工夫することで、より効果的に効率よく進められるとよい。 ・学校支援を通して、子どもたちの市立図書館活用推進へのきっかけともしていきたい。学校図書館支援活動も、ネットを使って情報連絡をもっと密接・迅速にできるとよいと思う。 ・選書に、利用者の希望をもっと活かさないか。 ・例えば、過去5年間との比較とか、評価に触れてください。
事業の課題と改善策	【課題】 市民のニーズを把握し、希望を選書に活かすことが求められている。学校との連絡を密にとることや、学校図書館支援活動により子どもたちの市立図書館の活用が推進されるきっかけになることを期待されている。 【改善策】 リクエスト担当と綿密に連携を図り、市民のニーズや希望を迅速かつ適切に選書に反映できるよう努める。学校支援担当と連携し学校の情報を共有する。また学校の読書調査の結果を選書に反映し、子どもたちの市立図書館への利用に結びつくよう努力する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	No.10 予約・リクエスト・相互貸借
事業の概要	都立多摩図書館の長期休館に伴い、サービスが低下しないような対策をとる。
事業の成果	平成28年度は、都立多摩図書館が移転のため、6月18日から2月6日までの約半年間休館した。休館中は、都立多摩図書館所蔵資料の借用ができないため、市区町村立図書館から借用することや、予約の多い雑誌は自館で定期購入するなど、サービスを低下させることなく、予約やリクエストに応えた。 *平成28年度 都立図書館からの借用冊数は、2,582冊 市区町村立図書館からの借用冊数は、6,227冊 (平成27年度 都立図書館からの借用冊数は、3,281冊 市区町村立図書館からの借用冊数は、5,443冊)
図書館協議会の意見	・ 都立多摩図書館の休館中に他図書館との相互貸借等によりサービス低下にならなかったことを評価する。 ・ 利用者の予約・リクエスト対応は基本業務だが、ICTにもう少し改善の余地があるのではないかと。 ・ 各図書館とも、リクエスト利用の例や方法の広報が必要では。 ・ 図書館の機能を自覚し、ニーズの把握に努めた成果が表れている。 ・ 貸出サービス(予約・リクエスト・相互貸借を含む)を図書館事業の1項目として掲げ取り組んでもらいたい。
事業の課題と改善策	【課題】 ・ リクエストされた資料の提供の維持に努めると共に、提供方法について検討していく。 ・ 業務の効率化をすすめる。 【改善策】 ・ リクエスト利用の方法を広報する。(図書館報ひろばや図書館ホームページ等) ・ 現在主にFAXで行っている23区との相互貸借依頼をインターネットを利用して行うよう調整をすすめていく。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	No.11 レファレンスサービス
事業の概要	サービスの利用促進を目指し、オンラインデータベースの利便性を高める。
事業の成果	・ オンラインデータベース全体(10種類)の利用は年間345回で、前年度より113回減少した。他のデータベースの利用は減少したが、毎日Newsパックは9回で変わらず、国会デジタルコレクションの利用は23回から34回に増加した。 ・ 平成28年8月2日から中央図書館レファレンス室で、国会デジタルコレクションの印刷サービスを開始した。これにより、国会図書館に直接複写依頼するよりも、より少ない時間と費用で複写物を提供できるようになった。 ・ 中央図書館及び高幡図書館でレファレンスをテーマに図書展示を行った。専用のレファレンスカウンターを持たない分館でもサービスをPRできた。(中央図書館:平成29年1月5日～29日、高幡図書館:1月31日～2月26日)
図書館協議会の意見	・ 外部データベースの活用は、図書館が所蔵する資料・情報だけの提供だけでなく、図書館外部の情報の窓口になっていることを広く認識してもらう上でも有効。 ・ 国会図書館デジタルコレクションの利用拡大は評価する。 ・ オンラインデータベースの利用減少の理由は不明だが、市民へのPRにもっと工夫が必要ではないか。さらなる利用促進を進めてほしい。 ・ レファレンスサービスをテーマとした図書展示は、良い企画なので引き続き行ってほしい。専門的な調べ物をしない一般市民は、どのような時にレファレンスサービスを利用するのか、実感できないのではないか。 ・ 他地区の図書館の状況・動向も参照し、より専門的な資料の提供を工夫してほしい。 ・ レファレンスサービスのPRについては、中央図書館及び高幡図書館での図書展示等によるPRが行われ、よい結果があった。その実績を踏まえ、他の5分館、また、移動図書館でも工夫して行ってほしい。 ・ 「レファレンスサービス」という言葉を、市民に馴染みやすい言葉に言いかえてPRすることも大事である。
事業の課題と改善策	【課題】 ・ 市民の隠れたニーズを掘り起こすために、わかりやすく親しみやすいサービスのPRが求められている。 【改善策】 ・ 小規模な分館でもレファレンスサービスに関する展示を行う。 ・ 図書館ホームページや館報ひろばで具体的な資料の使い方や身近なテーマの事例を紹介する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	No.12 地域・行政資料
事業の概要	平成29年1月30日に、日野市と岩手県紫波町が姉妹都市の盟約を締結し都市間交流を進めることに合わせ、紫波町を日野市民に紹介するための資料と同町出身で後半生を日野市旭が丘で過ごした詩人・巽聖歌に関する資料を収集し、展示や新着資料情報「資料の広場」等で周知し、資料の活用を進める。
事業の成果	・平成28年11月11日・12日の紫波町関係者の日野市訪問に合わせ、紫波町とオガールプロジェクト、巽聖歌に関する資料展示を市政図書室で開催した(平成28年11月1日～平成29年1月末)。 ・姉妹都市の盟約締結に合わせ、平成29年2月1日から第2弾の展示「祝！姉妹都市」を開催した(～平成29年3月末)。紫波町と巽聖歌、日野市初の姉妹都市であるレッドランズ市(米・カリフォルニア州)に関する資料の展示を行った。 ・巽聖歌の著作(昭和10～20年代のものを含む)と紫波町史等の地域資料34点を古書で購入し、展示や「資料の広場」平成29年2月号で紹介した。 ・平成29年3月から、紫波町図書館と市政図書室の間で地域資料の交換を中心に交流を開始した。交換した資料等を活用し、両館で姉妹都市の盟約締結を記念した展示を開催した。
図書館協議会の意見	・市政図書室ならではの秀逸な活動。各小学校でも巽聖歌への関心が高まってくる。小学生等にレクチャーできる仕組み、体制の構築をお願いしたい。 ・姉妹都市との交流・関連展示を活発に行っていることは評価できる。ただし、市政図書館は狭く不便なところがあるので、利用者は比較的少ないのではないかと。他館でも展示・案内を行ってはどうか。 ・市政図書館が所蔵する歴史資料や市民著書などの収集、市民への公開、情報PRも今後とも推進を。 ・小学生が興味を持ち、夏休み自由研究などで調べたいような資料展示を望む。 ・国際化の対応の視点からも多文化サービス(外国人へのサービス)の視点からも、レッドランズ市(米・カリフォルニア州)に関する資料の展示も発展させてほしい。
事業の課題と改善策	【課題】 ① 姉妹都市や巽聖歌に関する資料をはじめとする地域資料を、多くの市民に活用してもらうための情報発信 ② 子ども向け(わかりやすい)地域資料の作成 【改善策】 ① テーマ別の地域資料リストや日野市ならではの資料の紹介等の情報を発信すると同時に、姉妹都市や巽聖歌に関する資料等の地域資料を全館で巡回展示する。 ② 子ども向け地域資料『巽聖歌』の冊子を、郷土資料館や紫波町図書館と連携し作成する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	No.13 各館での取組み(中央図書館)
事業の概要	① 市内子ども関連施設・市他部署等や図書館来館者へリサイクル資料を頒布し、除籍図書・雑誌の再活用を図る。 ② トークライブ「ひとり出版社と『移動図書館ひまわり号』復刊！！」の開催 ③ 空調機の修繕
事業の成果	① 平成28年度実績 ・子ども関連施設 2,081冊 ・他部署(七生支所・健康課等)367冊 ・その他の施設(実践女子大学図書館)2冊 ・来館者 4,741冊 合計7,191冊 ・来館者へのリサイクル資料頒布は月3回(10日、20日、30日)程度行っているが、用意したリサイクル資料が2～3日でなくなるなど、好評であった。 ② トークライブ「ひとり出版社と『移動図書館ひまわり号』復刊！！」の開催 前川初代館長の著書が復刊されたことをきっかけに、復刊していただいた夏葉社を一人で営む島田潤一郎氏をお招きし、平成28年9月22日(木・祝)午後5時30分から閉館後の中央図書館開架フロアにて、本や出版についてのトークライブを実施。併せて、移動図書館ひまわり号の見学も実施した。参加者は60名。開架フロアでのイベント開催は、図書館ならではの雰囲気があり、好評をいただいた。 ③ 空調設備の修繕を6・7月に実施し、機器の入れ替えにより利用者にとって快適な環境を提供できるようになった。
図書館協議会の意見	・中央図書館として、責務も重大かと思うが、市内の分館へのサポート活動や市外図書館との連携をさらに推進して、市全体の読書活動推進の拠点として先進な取組を期待する。 ・子どもたちへのリサイクル図書の頒布は大変よいことだと思う。 ・快適になり、リサイクル事業も好評を得ていると評価する。 ・今回の成果を生かし、今後も自館にかかわるテーマや、広く図書館に関わるテーマ、また、地域に関わるテーマの講演会を開催するなどして、市民に図書館や日野市についてさらに広く深く認識をしてもらえるような取り組みをしてほしい。
事業の課題と改善策	①について 【課題】 ・市内高齢者施設や図書館に来られない方へのリサイクル資料の頒布 【改善策】 ・市内高齢者施設へのリサイクル資料頒布のPR ・移動図書館でのリサイクル資料頒布 ②について 【課題】 ・市民に図書館や日野市について広く深く認識してもらう取り組み 【改善策】 ・バックヤードツアーや懇談会等、市民向けのイベントを随時実施する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	No.14 各館での取組み(高幡図書館)
事業の概要	①地域の幼稚園・保育園へのおはなし会の実施 ②利用環境の向上(屋上防水工事の実施、玄関表示の修繕)
事業の成果	① 幼稚園1園・保育園1園からの希望により、園児の来館を受け入れ、おはなし会を13回実施した(平成27年度は2園10回)。平成28年度より、おはなし会で読んだ本を記載したプログラムを園に提供し、園や保護者への情報提供につながるよう努めた。 ② ・屋上防水工事を1/10～2/2の期間に行った。これにより、雨漏りが解消され、利用環境を向上させることができた。 ・正面玄関の「日野市立高幡図書館」の表示の一文字(「日」)が落下したことをうけ、修繕を行った。あわせてほかの文字も修理し、顔である図書館入口の表示を整備できた。
図書館協議会の意見	・地域のニーズに応じてのおはなし会の開催は大変よいことなので、さらに進展させ幼稚園児、保育園児へ楽しみの機会を増やすとともに、将来の図書館利用者となる幼稚園児、保育園児にお話の楽しみ、図書館への親しみをもってもらえるように行ってほしい。 ・老朽化対応に追われている印象。そうした状況でどのような事業を工夫されているのか、PRできるとよい。 ・今年は設備面での改善が主体だったようだが、図書環境も整備されたので、従来通り、乳幼児への取り組みなども進めてほしい。 ・まだ課題はあるが、防水工事・名称修理は、その一つとして出来たことを評価する。更に利用者の増加につなげてほしい。
事業の課題と改善策	【課題】 ・幼稚園・保育園のクラス単位での来館については、さらなる利用促進のためのPR方法について検討していく。 ・今後も快適な読書環境を提供できるように、施設管理運営上、配慮していく。 【改善策】 ・園とは、先生、子ども達と顔の見える関係を築くことができている。この関係を今後も保ち、先生とお話ししながら要望をくみ取ってゆく。 ・計画的に修繕等を行っていく。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	No.15 各館での取組み(日野図書館)
事業の概要	地域住民と共同で取り組んでいる日野宿発見隊事業を引き続き充実させる。
事業の成果	・ 新選組まつりに合わせて実施した「スタンプラリーin日野宿」には、約600名が参加。 ・ 7月30日実施の「夏休み！親子で調べよう日野用水」は参加者51名。 ・ 日野第一中学校の生徒会との共同用水清掃を新しい取り組みとして実施。生徒80名が参加。 ・ 日野宿発見隊発足10年目に当たるため、「日野宿発見隊十年のあゆみ展」を11月1日から12月25日に開催した。11月27日には、日野宿交流館にて、「日野宿発見隊十周年を祝う会」を開催した。 ・ 『新編日野百物語』を200部刊行し、事業を資料刊行につなげられた。 ・ その他、この事業について、団体等から数件ヒヤリングを受けており、この事業が注目されていることも記しておきたい。
図書館協議会の意見	・ 図書館が地域住民の中に溶け込んだすばらしい事例。日野市立図書館だけが可能な特徴的活動として継続発展させてほしい。 ・ 日野宿発見隊事業は、地域と密着した着実な取り組みだと思う。発見隊の活動がますます活発になり参加者も増加している。他館での案内など、より多くの市民へのPRの工夫をしてほしい。 ・ 多数が参加した、「スタンプラリー」の企画は、大いに評価できる。 ・ 地域住民と協働する中で、図書館が知られ、そのサービスが行われることは大変良い。これまでの積み重ねを踏まえ事業が軌道にのって展開することを期待する。
事業の課題と改善策	【課題】 ・ 事業の継続と発展。 ・ PRの工夫。 【改善策】 ・ 図書館の利用につながる事業を企画・実施する。 ・ 事業PRを日野市全域で実施する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	No.16 各館での取組み(多摩平図書館)
事業の概要	複合施設ならではの特性を活かし、「多摩平の森ふれあい館」内の施設と連携した活動を実施する。
事業の成果	①「子ども家庭支援センター多摩平」が開催した『子育てひろば』のミニ講座で「子ども(赤ちゃん)と絵本」について、図書館職員が講師を務めた(平成28年4月に開催)。講座直後には、講座に参加した方が図書館へ来館し、紹介した本を借りていったり、問い合わせがあったりと、図書館利用のPRにもなった。 ②「たまだいら児童館ふれっしゅ」が開催した『プチすくすくクラス(乳幼児自由参加ひろば)』にて、「赤ちゃん絵本」について図書館職員が話をし、また、お母さん向けの本を紹介した(平成28年10月に1回実施)。講座終了後に参加者が図書館を利用するきっかけにもなっている。 ③ 多摩平の森ふれあい館に設置されている施設や館で活動している団体が、それぞれの活動を広く市民に知ってもらうことを目的として、『多摩平の森ふれあい館まつり』を開催した(平成29年2月4日)。多摩平図書館は、児童書を中心としたリサイクル資料の配布を行い、約500冊が再活用された。
図書館協議会の意見	・ 事業①②は図書館員の専門性をアピールできる活動。図書館員自身による積極的なアプローチによって、図書館の有効性をPRしてほしい。 ・ 今後とも、立地条件、複合施設のよさを最大限にいかして、市民のニーズに応じて事業の充実・発展を図り、さらなる活動の広がりを期待する。 ・ 連携は、評価し、少し時間がたってから実になるので、これからも進めてもらいたい。 ・ 事業が図書館利用の周知、利用につながったことは、よい結果が得られたといえる。
事業の課題と改善策	【課題】 ①②については、図書館職員の専門性の維持 【改善策】 職員の専門性を維持できるよう、研修の機会を確保していく。また、図書館の有効性をPRできるように他機関からの依頼等には積極的に応えていく。 今後も積極的に館内での連携をすすめ、図書館利用だけでなくふれあい館全体の活動が市民ニーズに応じて広がるようつとめていきたい。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	No.17 各館での取組み(平山図書館)
事業の概要	① 乳幼児から高齢者まで、多くの人々が来館する複合施設の特徴を生かし、さまざまな目的で来館した方々が、図書館があることで知識欲・読書欲をかきたて、気軽に立ち寄り、満たされるような図書館活動を展開する。 ② 市民が快適に利用できるよう、複合施設の運営を行う。
事業の成果	①-1. テーマによる図書展示を推進・・・(展示10回、他にミニ展示12回) -2. 学生の来館が多いので、ヤングスタッフ事業と共同して、青少年向け図書の展示を、図書館内とブラウジングコーナーで実施・・・(展示3回) -3 乳幼児向けに「ひよこタイム」でのおはなし会と、2階の「子育てひろば ぽっかぽか」での出張おはなし会を毎月各1回実施を継続・・・(12回大人90人子ども94人／12回大人82人子ども91人) * 3月おはなし会で、手作りカードを配布し、次年度も参加していただけるよう工夫。 -4. 地域資料を見つけやすくするために、平山季重資料コーナーの隣に平山に関する地域資料のコーナーを設置。 ② 駐車場の受付方法を簡便化。また、2階談話室での軽食タイムの設定時間について、10時～15時を9時～19時に改め、開室時間中はいつでも軽食が取れるよう改善。
図書館協議会の意見	・「複合施設の特徴を生かす」という明確な理念をもち、それをきちんと具現化した取り組みになっている。子どもスペースもあり、「ふれあい館」とも協力して親子活動などさらに工夫してほしい。 ・地域の郷土資料の充実・発展も期待したい。 ・駅に近いので、多くの人々が施設の利用をしている利点がある。現在図書館を利用していない人たちに、興味を持ってもらう企画や展示などが必要と思う。 ・他の施設利用で来館した方々が、思わず立ち寄りたくなるような雰囲気作りを望む。 ・利用者の利便をよくする取り組みは評価できる。 ・事業概要の設定、事業の成果・評価ともに大変よい。
事業の課題と改善策	【課題】 ・図書館未利用者に対する図書館利用の促進。 ・地域を知るための資料の収集と情報の発信。 ・ふれあい館の他施設との連携促進(特に子育て支援)。 【改善策】 ・入館者の目につく場所に、ふれあい館内の施設案内・図書館利用案内や、地域の情報・その関連図書を紹介する「一口豆知識」を掲示する。 ・地域資料の収集充実に努め、展示等で発信していく。 ・子育てひろばと連携をとり、さらなる取組みを検討していく。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	No.18 各館での取組み(百草図書館)
事業の概要	利用増を目指し、①CDの利用を促進する②おはなし会参加人数を増やす③ハード面での安心・安全・快適さを追求する。
事業の成果	① 市内でCDを所蔵する2館のうちの1館であり、あまり所蔵していなかった分野(一定評価のある外国アーティストのアルバムや朗読CD等)のCDを受入れし、利用を伸ばすことができた(平成27年度CD貸出点数は2,782点、今年度は3,897点に増加)。 ② カウンターや近隣子育て関連施設へのPRにより、おはなし会参加者を増加させた(平成27年度のべ69人、平成28年度のべ196人へ増加)。主に乳幼児連れ親子の参加が定着してきた。 ③ 閲覧コーナーの汚れが目立っていたソファを10脚買い替えた。また災害時の危機管理対策として、エレベーターチェアを設置し、快適かつ安全に図書館を利用してもらえるように努めた。
図書館協議会の意見	・ 地域住民のニーズに応じて事業を展開している。 ・ 閲覧コーナーのソファ交換により、閲覧のための環境がよくなったことは評価できる。 ・ CD所蔵館として、CDの利用を引き続き取り組んでほしい。 ・ 多摩市と隣接していることもあり、PRを工夫して、快適・安心に利用できるよう努めてほしい。 ・ 電子(デジタル)資料であるCDも最低1,000点を超える所蔵を目途にすすめ、毎年新しい資料の追加と劣化した資料の廃棄を行い、常に新鮮に資料を保ち、さらなる利用の増進を進めてほしい。 ・ 乳幼児向けのお話(ストーリーテリング)も取りいれていくことが、読書へのいざないとして重要であり、取り組んでほしい。
事業の課題と改善策	【課題】 ・ CDの利用をさらに伸ばすため、視聴覚資料の新鮮さを保つような選定購入、劣化資料の点検、PR等が必要。 ・ 定着してきた乳幼児向けおはなし会で、保護者の方へも含めた内容の充実。乳幼児だけでなく、幼児、小学生のおはなし会も参加者増をめざす。 【改善策】 ・ 新着CDが受入れされたら、どのようなCDが入ったのかがわかるように積極的にPRする。 ・ 乳幼児向けおはなし会は、保護者にも、耳からの読書の楽しさを伝えていく内容とする。年齢に応じたプログラムを組み、さらに次の年代へのサービスにつながるようなおはなし会を工夫して行う。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	No.19 各館での取組み(移動図書館)
事業の概要	移動図書館の利用促進を図る。 ・ 保育園・幼稚園・学童クラブ等の団体貸出サービスの実施 ・ 図書館PRのため、移動図書館ひまわり号のイベント等への参加
事業の成果	・ 保育園・幼稚園・学童クラブ等、それぞれの利用動向を十分に考慮して書架整理を行い、新しい本は特定のコンテナに入れて目立たせるようにするなど、持っていく本に新鮮味をもたせるようにした結果、団体への貸出が増加した。 団体貸出冊数合計／23, 361冊(平成27年度 21, 205冊)、前年度比、約10%の増。 ・ 「手をつなごうこどもまつり2016」に参加するため、実行委員会に出席し、関係各課や参加する団体と協力して事前準備を行った(全5回)。当日は雨のため、移動図書館ひまわり号の参加はできなかったが、実行委員会出席者へのPRをすることができた。今後も継続して参加していく。
図書館協議会の意見	・ 日野市立図書館のシンボリック的存在、代名詞ともいえる移動図書館ひまわり号である。その意味で、貸出冊数にとらわれることなく、これからも図書館PRのためにも活動を継続してほしい。 ・ 絵本の選定の工夫の成果が表れている。建物としての図書館とは違う「移動図書館」の魅力をPRし、さらに利用者を増やして欲しい。今後とも、移動図書館ひまわり号が各地域で親しまれるような存在であり続けるよう、各地域の市民とのふれあいを大切にしていきたい。 ・ 新刊本が目立つ工夫をしての、団体利用率10%の向上は、立派だと思う。 ・ 保育園・幼稚園・学童クラブ等への団体貸出サービスに新しい手法を取り入れる工夫をしたことによって、貸出冊数が10%も伸びたことは高く評価できる。 ・ 移動図書館ひまわり号のPRは、市内の大学祭などでも行った実績があるので、いろいろなイベントなど機会をとらえて積極的に広報活動に取り組んでもらいたい。
事業の課題と改善策	【課題】 ・ 団体貸出サービスの更なる充実。 ・ 移動図書館ひまわり号を積極的にPRし、利用の促進をはかる。 ・ 新たな利用者の開拓と利用の増加を目指す。 【改善策】 ・ 団体貸出の巡回頻度の見直しを検討する。 ・ 他課とも連携し、各課で主催するイベント等へ参加する。 ・ 各巡回地域の人口の変化や実際の巡回における各サービスポイントの利用状況から、巡回時間の見直しや統廃合、新サービスポイントの設置等の検討を行なう。 ・ 移動図書館ひまわり号内の配架をわかりやすくするため、棚表示を行なう。移動図書館ひまわり号でもリサイクル配布用の棚を設置する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	No.20 広報
事業の概要	館報ひろば、七生支所通路側モニター、図書館HPを使用した図書館活動のPR。
事業の成果	館報ひろばの配布先及び配布数の見直しを行い、より必要な場所へ館報ひろばを設置した。窓口にて、利用者登録の際に館報ひろばを手渡しし、新規利用者へ館報ひろばの存在を知っていただけるよう各館で取り組んだ。また、七生支所通路側モニターと連動し、本の紹介やイベントのPRに加え各図書館の案内を行った。インターネットにアクセスが難しい方にも館報ひろばを通じ新刊情報などの提供もできた。
図書館協議会の意見	・ 他の部署、各種活動と連携し、様々な工夫をし、図書館を広く市民に周知してほしい。 ・ HPだけでなく、手渡しによるPRを心がけていることは評価したい。利用者登録のときの手渡しを継続し、さらに講演会や様々な場面での配布を実施してほしい。 ・ 「広報ひの」や日野CATV、市の他の広報との連携を図り、引き続き図書館PRに努力を。 ・ 館報ひろばは活用されていると思う。 ・ 館報ひろばの表紙の絵に色があると、インパクトも増し、興味をもたれるのでは。沢山の情報を載せているので大変だが、もう少しレイアウトに工夫があっても良いのでは。時には貸し出しの際にも、一言声をかけ館報ひろばを配ることも必要では。 ・ 図書館未利用者が、図書館を利用するようになるきっかけ作りが必要である。 ・ インターネットにアクセスが難しい方への配慮・対応も引き続き行ってほしい。また、子ども向けやヤングアダルト向けの図書館だより(図書館報)を発行してほしい。
事業の課題と改善策	【課題】 ・ 特に児童対象のイベント時に館報ひろばを配布するという意識が無かったので、今後は積極的に配布していく。また、各イベント情報を早期に入手し、印刷部数を調整しながら配布していく。 【改善策】 ・ 館報ひろばの原稿はカラーで作成しているが、印刷は庁内印刷室に依頼しているため、モノクロ印刷にならざるを得ない。帳合作業は、社会福祉法人に依頼している。試行として、本年度発行予定の特集号は、館内の印刷機にてカラー印刷を行い、帳合作業も図書館職員で実施する予定。 ・ 高齢者から、字が小さいというご意見を頂いたことがあるため、フォントを大きくしたり、レイアウトを工夫した。より見やすい紙面を作っていくために、ページ数増も検討していく。

＜参考資料＞

I. 図書館事業のあらまし

1 奉仕実績

(1)蔵書状況(蔵書数)

① 図書

区 分	蔵書冊数	年間受入冊数	年間除籍冊数
成 人 図 書	647,317	26,125	14,915
児 童 図 書	172,689	12,017	8,884
計	820,006	38,142	23,799

②CD・ビデオ等

資料名	保有数
C D	4,641
カセットテープ	515
D V D	540
ビデオソフト	172
レコード	5
計	5,873

③雑誌・新聞

	購 読 新 聞	雑 誌		
		購入	寄贈	合計
中 央 図 書 館	16	211	40	251
高 幡 図 書 館	10	120	4	124
日 野 図 書 館	6	89	3	92
多 摩 平 図 書 館	9	155	4	159
平 山 図 書 館	5	83	3	86
市 政 図 書 室	14	64	7	71
百 草 図 書 館	7	105	2	107
移 動 図 書 館	0	41	0	41

(2)利用者数・貸出点数

① 利用登録者数

成人（人）	児童（人）	登録者総数（人）	登録率（％）
31,581	5,629	37,210	20.22

※登録率は、登録者数を4月1日の総人口で除して算出

② 延べ利用者数、開館日数

館名	延べ利用者数	開館日数
中央図書館	78,416	313
高幡図書館	93,835	313
日野図書館	65,412	313
多摩平図書館	136,760	313
平山図書館	46,689	313
市政図書室	5,257	293
百草図書館	35,808	313
移動図書館	3,185	—
計	465,362	—

③ 個人貸出点数

区分	成人図書	児童図書	CD・ビデオ	計
中央図書館	203,179	91,772	867	295,818
高幡図書館	218,631	88,938	946	308,515
日野図書館	153,968	87,082	343	241,393
多摩平図書館	323,464	156,833	9,707	490,004
平山図書館	109,353	35,669	389	145,411
市政図書室	11,857	3,002	94	14,953
百草図書館	80,445	32,236	3,898	116,579
移動図書館	11,818	7,806	7	19,631
計	1,112,715	503,338	16,251	1,632,304

④ 移動図書館・駐車場別貸出数

駐 車 場 名	貸出冊数	駐 車 場 名	貸出冊数	駐 車 場 名	貸出冊数
シティハイツ日野旭が丘	3,254	新井わかたけ公園	662	貉谷戸公園	446
西平山第1公園	1,208	さいかちぜき公園	636	万願寺中央公園	730
緑ヶ丘公園	979	大坂西公園	511	ちょうまんびら公園	631
市営向川原団地	1,674	新坂下公園	757	七ツ塚公園	1,360
百草団地アポロ広場	918	都営日野栄町二丁目アパート	391		
水車公園	1,776	松風公園	905		
ほほえみ公園	673	南平丘陵公園	770		
小構コーポ佐野前	648	万願寺渡西公園	702	貸出総冊数	19,631

駐車場数	20カ所	延べ巡回回数	456回	一駐車場平均貸出冊数	981.6冊
年間利用者数	3,185人	一駐車場平均巡回回数	22.8回	一駐車場一巡回当たり	
貸出冊数	19,631冊	平均利用者数	7.0人	平均貸出冊数	43.1冊

⑤移動図書館による団体貸出

	病院・施設等	保育園	幼稚園	学童クラブ	計
団 体 数	1	18	6	27	52
冊 数	373	5,953	2,831	14,204	23,361
巡 回 数	12	54	18	81	165

⑥京王線沿線7市図書館連携事業

日野市民の他市図書館利用	新規登録者（人）	貸出冊数（冊）
	507	66,607
他市市民の日野市立図書館利用 （八王子・府中・調布・町田・多摩・稲城）	新規登録者（人）	貸出冊数（冊）
	543	56,657

(3) リクエストサービス(処理件数)

	図書			雑誌			視聴覚	合計
	所蔵	借用	小計	所蔵	借用	小計	所蔵	
中央図書館	14,956	1,299	16,255	1,512	100	1,612	395	18,262
高幡図書館	17,889	2,458	20,347	1,084	59	1,143	85	21,575
日野図書館	9,555	835	10,390	835	45	880	29	11,299
多摩平図書館	16,170	2,659	18,829	1,549	104	1,653	167	20,649
平山図書館	7,259	668	7,927	1,021	47	1,068	45	9,040
市政図書室	1,212	210	1,422	54	16	70	4	1,496
百草図書館	5,391	505	5,896	360	104	464	170	6,530
移動図書館	660	55	715	39	3	42	0	757
O P A C	26,734		26,734	2,785		2,785	287	29,806
W E B (注1)	307,531		307,531	32,585		32,585	2,774	342,890
合計	407,357	8,689	416,046	41,824	478	42,302	3,956	462,304
上記受付数中、 電子申請(注2) による受付数			2,161					

注1) 図書館のホームページを使ったリクエスト

注2) 東京都及び市区町村が共同で組織する東京電子自治体共同サービスを使った電子申請によるリクエスト

(4) 参考調査

① レファレンスサービス(文献調査)

区分	日野市 関係	多摩・東京 関係	地方行政 関係	一般 主題	計
中央図書館	241	169		282	692
高幡図書館	15	7		150	172
日野図書館	38	9		77	124
多摩平図書館	9	1		288	298
平山図書館	16	8		173	197
市政図書室	708	92	112	60	972
百草図書館	22	4		151	177
計	1,049	290	112	1,181	2,632

※地方行政関係は、市政図書室のみでカウント。他の館では一般主題といっしょにカウントしている。

② コピーサービス

館 名	カラー枚数(枚)	白黒枚数(枚)	調定済金額(円)
中 央 図 書 館	1,180	32,931	376,510
高 幡 図 書 館	1,286	20,359	255,030
日 野 図 書 館	709	8,571	114,070
多 摩 平 図 書 館	2,099	13,997	223,930
平 山 図 書 館	1,411	11,197	168,410
市 政 図 書 室	358	8,421	98,530
百 草 図 書 館	484	6,518	84,540
計	7,527	101,994	1,321,020

(5) 児童・青少年サービス

① おはなし会

(定例おはなし会)

会 場	開催日	回数	参 加 人 数				
			0才 〜	3才 〜	小学生	小計	大人
中 央 図 書 館	毎月第4木曜日	12	90	—	—	90	90
	毎月第2水曜日	12	—	61	21	82	45
高 幡 図 書 館	毎月第1・3水曜日	23	224	131	64	419	328
多摩平図書館	毎月第2木曜日	12	239	—	—	239	208
	毎月第4水曜日	12	—	80	47	127	84
平 山 図 書 館	毎月第3木曜日	12	94	—	—	94	90
百 草 図 書 館	毎月第4金曜日	12	55	25	41	121	75

※おはなし会の開始時間

0～2歳児	午前10時30分～	(中央、多摩平、平山)
	午後3時～	(高幡、百草)
3歳～	午後3時30分～	
小学生以上	午後4時～	

(出張おはなし会)

訪問先	合計回数
15施設(保育園・子育てひろば・児童館・学童クラブ・小学校・子ども家庭支援センター)	33回

②「子ども読書の日」関連事業(おはなしピクニック)

行 事 内 容	開催月日	備考
イベント「としょかんおはなしピクニック 2016」 おおぎやなぎちか氏講演会「心を育む 本との出会い～日野に暮らして、物語 をつむぐ」ほか、子どもと本に関する 各コーナー	4 月 24 日 (日)	イオンモール多摩平の森 のべ 303 名参加 (大人・子ども も合わせて)

③保護者向け本の紹介

会場	開催日	参加人数		
		子ども	大人	合計
中 央 図 書 館	10 月 6 日 (木)	1	6	7
高 幡 図 書 館	5 月 13 日 (金)	0	18	18
中央公民館実習室	10 月 14 日 (金)	0	4	4

④読み聞かせ入門講座

行 事 内 容	開催月日	備考
集団に対する読み聞かせの仕方、本の 選び方、参考図書の紹介、実習	5 月 20 日 (金)	多摩平の森ふれあい館集会室 6 大人 17 名参加

⑤ 学校訪問

毎年、図書館職員が市内小学校の 3 年生のクラスを訪問し、市立図書館の利用案内・本の紹介・絵本のよみきかせ・昔話の語り等を行っている。

月・日	学校名	月・日	学校名
5 月 20 日 (金)	潤 徳 小 学 校	11 月 25 日 (金)	仲 田 小 学 校
5 月 24 日 (火)	日野第三小学校	12 月 8 日 (木)	夢 が 丘 小 学 校
6 月 2 日 (木)	日野第五小学校	12 月 16 日 (金)	平 山 小 学 校
6 月 10 日 (金)	七 生 緑 小 学 校	1 月 27 日 (金)	豊 田 小 学 校
6 月 16 日 (木)	南 平 小 学 校	2 月 2 日 (木)	日野第四小学校
6 月 17 日 (金)	旭 が 丘 小 学 校	2 月 17 日 (金)	日野第六小学校
6 月 24 日 (金)	日野第一小学校	2 月 24 日 (金)	滝 合 小 学 校
7 月 14 日 (木)	日野第八小学校	3 月 9 日 (木)	日野第七小学校
10 月 21 日 (金)	東 光 寺 小 学 校		

⑥ 学校へ貸出・搬送(学校搬送便)

市内小中学校からの要望に応じて、授業内容に沿った資料や読書指導に必要な図書を貸し出し、搬送している。

搬送回数 (のべ)	貸出冊数
114 回	4,768 冊

⑦ 「本の森」学級文庫配本

子ども読書推進のため、小学校全学年へ読み物を中心とした図書セットを配本している。

回 数	貸出冊数
のべ 51 回	12,042 冊

⑧ 中学生の職場体験学習

行事名	開催日	実施館	備 考
職場体験	随時	中央・高幡・日野・多摩平・平山・百草	のべ 19 校 56 人

⑨ ジュニア・スタッフ(中学生)

夏休みに図書館の仕事を体験したり、図書館ホームページやOPAC（オパック＝蔵書検索パソコン）の使い方を学ぶジュニア・スタッフ事業を行っている。

開催日	実施館	人数
7月下旬と8月上旬の4日間 (中央・日野は2日間)	中央・高幡・日野・多摩平・平山・百草	15 人

⑩ 来館(施設見学、おはなし会等)

行 事 名	開催日	実施館	
小・中学校	随時	中央・高幡・日野・多摩平・平山・百草	12 校
その他	随時	中央・高幡・百草	25 団体

⑪ 市立幼稚園・保育園等への配本

幼稚園・保育園に対し、年齢に見合った図書を選定・配本し、読書活動の推進を図っている。

のべ配回数	配本冊数
53 回	2,890 冊

⑫ 健康課主催ママパパクラスにて図書館案内と関連図書紹介

開催日	会 場
9月5日（月） 12月5日（月） 3月6日（月）	生活・保健センター

⑬ 青少年読書活動事業
「ヤングスタッフ事業」

青少年が自ら企画・立案し、イベントの開催、推薦図書リストの作成等を行った。
公募により、市内在住・在学の大学生・高校生が15人参加。

行 事 名	開催日	備考
イベント 「としょかんおはなしピクニック 2016」 BOOK パレード&しゃべり場	4月24日（日）	おすすめ本の紹介を行った。 会場：イオンモール多摩平の森 スタッフ4名。参加者11名。
イベント「BOOK パレード with めいせい書房『List』」	10月30日（日）	明星大学内の同好会「めいせい書 房『List』」の学園祭企画に参加 し、本の紹介を行った。 会場：明星大学 スタッフ5名。参加者16名。
市内大学連携事業 「実践女子大学常盤祭」展示	11月12日（金） 11月13日（土）	「料理」に関する本を展示し、日 野ヤングスタッフが作成したブ ックリストを配布した。 会場：実践女子大学 図書館
市内大学連携事業 「実践女子大学との交流会」	1月28日（土）	実践女子大学図書館を見学し、学 生と本についての話を通じて交 流した。 会場：実践女子大学 スタッフ6名。参加者2名。
イベント 「BOOK パレード i n 日野市立日野第二中学校」	3月10日（金）	中学校1年生5クラス（115名） に向けて、おすすめ本の紹介を行 った。 会場：日野第二中学校 図書室 スタッフ3名。

⑭ 中学生と作家の交流事業

「見たい！聞きたい！作家の素顔 初野晴さん講演会」

作家との交流をきっかけとして、中学生が本に親しみ、自ら読書の楽しさを発信する活動を行うことを目指すために実施。

開催日	会 場	講 師	参加者数
11月5日(土)	七生公会堂	初野 晴 氏	150人

(6) 障害者サービス

① 利用登録者数

個人	団体
178	7

② 音訳・点訳登録者数

音訳者数	点訳者数
44	11

③ 対面朗読

件 数	延べ時間	延べ音訳者数
156	460	311

④ 資料数・貸出数

	録音図書 テープ	録音図書 DAISY	点字資料	拡大写本
作 成 タ イ ト ル	—	47	—	0
作 成 巻 数	—	47	—	0
作 成 枚 数	—	—	6,223	12
貸 出 タ イ ト ル	193	5,476	622	0
貸 出 巻 数	660	5,476	665	2
貸 出 枚 数	603	4,938	1,154	0

⑤ 宅配サービス

	利用者数	回 数	貸出図書冊数
職員による	16	108	1,697
ボランティアによる	12	107	342

※登録ボランティア 14人

⑥ 相互貸借

	テープ図書		DAISY 図書		点字図書	
	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数
貸 出 数	0	0	4,972	4,972	2,728	2,743
借 用 数	151	618	3,616	3,661	200	464

⑦ 講習会

講習名	講師名	開催回数	開催場所	受講者
音訳者講習会（中級）	人見 共	全 3 回	多摩平交流 センター	38人

⑧ 出張点字授業

点字や視覚障害者についての理解を深めるため、市内小学校 4 年生のクラスを訪問している。

訪問日	学校名	クラス数
10月7日（金）	東光寺小学校	2
10月18日（火）19日（水）	潤徳小学校	4
11月2日（水）	七生緑小学校	2
2月21日（火）・28日（火）	旭が丘小学校	3

2 刊行資料

資料名（1回当りの発行部数）	発行回数	発行部数
館報「ひろば」	12	19,070
新聞記事速報（1回あたり 230部）	242	55,660
市政調査月報（1回あたり 160部）	3	480
資料の広場（1回あたり 180部）	10	1,800

3 視聴覚ライブラリー

(1) 視聴覚機材、16ミリフィルム保有数及び貸出数

資料・機材名	保有数	貸出数
16ミリ映写機	1	0
8ミリ映写機	1	0
スライド映写機	1	0
スクリーン	8	1
暗幕	19	32
16ミリフィルム	60	0

(2) 16ミリ映写機検定

項 目	開催日	会 場	検定台数
16ミリ映写機検定	9月26日(月)	中央図書館	5

4 インターネットサービス

(1) ホームページアクセス件数 1, 291, 521件

(2) パスワード発行数 1, 980件

(3) メールアドレス登録者数 (累計) 14, 593人
予約した資料の用意ができたお知らせを送信している。

(4) インターネット検索パソコン利用回数

インターネットの情報を図書館でも検索できるように、各館にインターネット端末を設置している。

中央	レファレンス	高幡	日野	多摩平	平山	市政	百草	合計
681	802	1,351	842	2,204	669	415	410	7,374

(5) 持込PC用電源利用受付数

中央	レファレンス	高幡	日野	多摩平	平山	市政	百草	合計
-	236	89	55	569	69	-	24	1,042

5 テーマ展示

本との出会いを生む取組として、テーマごとに蔵書の紹介をしている。

(1) 中央図書館

	テーマ	
4 月	春の本	
5 月	てのひら写真館	
6 月	快適な夏を迎えるために	
7 月	環境	
8 月	平和	
9 月	認知症	
1 0 月	予約多数だった本	
1 1 月	おひとり様	児童虐待防止
1 2 月	障害者とともに生きる犬	
1 月	レファレンス	
2 月	マニアックな本	
3 月	自殺対策（児童向けも含む）	

(2) 高幡図書館

	テーマ	
4 月	ねこねこねこ	
5 月		
6 月	環境	
7 月	海	まちゼミ
8 月	平和	
9 月	認知症	
1 0 月	いぬ	
1 1 月		
1 2 月	多摩地域にある出版社の本	
1 月		
2 月	レファレンス	
3 月	自殺対策（児童向けも含む）	

(3) 日野図書館

	テーマ		
4 月	春		
5 月	こどもの日	乗り物	
6 月	雨		
7 月	夏がきた		
8 月	平和		
9 月	子育て支援		
1 0 月	みのりの秋		
1 1 月	環境		
1 2 月	冬	クリスマス	
1 月	お正月		
2 月	チョコココア	節分	冬
3 月		ひなまつり	ともだち

(4) 多摩平図書館

	テーマ
4月	入門特集「～を始める」
5月	
6月	防災
7月	オリンピック
8月	平和
9月	まちゼミ
10月	認知症
11月	子育て支援・児童虐待防止
12月	片付け・クリスマス・正月
1月	環境
2月	ねこ
3月	自殺対策（児童向けも含む）

(5) 平山図書館

	テーマ		
4月	リラックスしてますか？		
5月	伝記		
6月			
7月	子育て支援	選挙	
8月	平和	追悼 永六輔さん 大橋巨泉さん	
9月	認知症	オリンピック・パラリンピック	
10月	環境	追悼 三笠宮殿下 田部井淳子さん 平尾誠二さん	
11月	児童虐待防止	トランプ新大統領	
12月	シニアライフを豊かに	年の瀬を迎える	織物の本
1月	NHK大河ドラマ・朝ドラ		追悼 渡辺和子さん
2月			井浦新さん
3月			

(6) 市政図書室

	テーマ
11月	紫波町（岩手県）、オガールプロジェクト（紫波町）、異聖歌紹介
12月	
1月	
2月	祝！姉妹都市
3月	（紫波町、レッドランズ市の紹介）

(7) 百草図書館

	テーマ
4 月	旅
5 月	
6 月	涼
7 月	
8 月	平和
9 月	世界自殺予防デー&自殺予防週間
10 月	ノーベル賞
11 月	ぽかぽか
12 月	
1 月	駅伝
2 月	環境
3 月	花粉症

6 日野宿発見隊

活動内容	開催月日	会場	参加者数等
日野宿発見隊第70弾「スタンプラリー in 日野宿2016」(日野駅東広場受付：515名 日野銀行跡(有山家)：78名 計593名)	5月7日(土)	日野宿内	593
日野宿発見隊第71弾「夏休み親子で調べよう日野用水」	7月30日(土)	新東光寺地区センター前用水	51
日野一中地区アクションプラン 日野宿発見隊第72弾 ふれあいこども横丁(雨のため途中で中止)	8月27日(土)	仲田の森蚕糸公園	
日野宿発見隊第73弾「八坂のまつり写真展」	9月1日(木)～30日(金)	八坂神社玉垣ほか	
日野一中生徒会とコラボして用水清掃	9月29日(木)	日野一中	100
日野宿発見隊第74弾「日野宿発見隊十年のあゆみ展」	10月30日(日)～12月25日(日)	日野宿交流館1階ギャラリー	
『新編日野百物語』刊行(和綴じ本200部)	11月8日(火)		
日野宿発見隊第74弾「日野宿発見隊十周年を祝う会」	11月27日(日)	日野宿交流館3階大会議室	53
七生支所協展示スペースで「日野図書館と日野宿発見隊」を紹介する展示(～7日)	12月1日(木)～7日(水)	七生支所協展示スペース	
日野宿発見隊第75弾「日野宿の魅力を再発見! ～まちを楽しむ～」(1・2回：座学 3回：まち歩き会)	2月4日(土) 2月18日(土) 3月11日(土)	1・2回：日野宿交流館 3階大会議室 3回：日野宿内	
日野宿発見隊通信第14号発行	3月15日(水)	一小、東光寺小、仲田小学校区内自治会配布	500部

7 本を通じた交流の企画

(1) はじまりの読書会

各回一冊の本を取り上げて読んで集まり、本の感想等を語り合う。

今年度は芥川賞受賞作6作品を取り上げた。16名が参加。

	開催日程	とりあげた本	会場	講師
第1回	9月16日(金)	『忍ぶ川』 三浦哲郎／著	高幡図書館 読書会室	青木笙子氏
第2回	10月21日(金)	『ボトスライムの舟』 津村記久子／著		
第3回	11月18日(金)	『熊の敷石』 堀江敏幸／著		
第4回	1月20日(金)	『猛スピードで母は』 長嶋有／著		
第5回	2月17日(金)	『ダイヤモンドダスト』 南木佳士／著		
第6回	3月17日(金)	『ひとり日和』 青山七恵／著		

※時間はいずれも 午前10時30分～12時30分

(2) 市民懇談会 & 中央図書館バックヤードツアー

中央図書館リニューアルプランの策定にあたって開催。地下集密書庫や移動図書館ひまわり号など、中央図書館内ではふだん入れない場所を案内するとともに、中央図書館1階開架室の吹き抜け下で市民懇談会を開催し、ご参加いただいた方と図書館職員が1階の吹き抜け下で輪になって意見交換を行った。

開催日・時間	参加者数
7月17日(日) 19:30～21:00	21人
7月25日(月) 13:30～16:00	24人

(3)トークライブ

「ひとり出版社と『移動図書館ひまわり号』復刊！！」

日野市立図書館開設から中央図書館開館までを初代館長が記した本『移動図書館ひまわり号』（前川恒雄/著）が夏葉社から復刊したことを記念して、夏葉社をおひとりで営む島田潤一郎さんを講師に、出版や本について語って頂く会を開催。

開催日時	会場	参加者数
9月22日（木・祝） 17：30～19：30	中央図書館1階開架室	60人

8 中央図書館リニューアル基本計画・基本設計策定

(1)基本理念

「扉をひらく」

(2)リニューアルの方向性

- ①ふと立ち寄りたくなり、人と出あえる図書館
- ②本が大好きな子どもが育つ図書館
- ③落ち着いた空間と豊富な蔵書を有し、広い世界につながるができる図書館

(3)策定の経過

1月14日（木）	第1回検討チーム	検討チーム発足 中央図書館について
1月26日（火）	第2回検討チーム	中央図書館で「できること」「できないこと」の洗い出し
2月3日（水）	第3回検討チーム	日野市主要3戦略をベースとした図書館の「取り組み」の検討
2月12日（金）	第4回検討チーム	中央図書館の役割について
2月18日（木）	第5回検討チーム	これまでの会議内容の整理
3月1日（火）	第6回検討チーム	中央図書館のあり方について （基本理念、方針、考え方整理）
4月26日（火）	第7回検討チーム	理事者との懇談会（4月18日）を受けて、方向性を確認
5月27日（金）	第8回検討チーム	市民懇談会&バックヤードツアーの開催について
6月8日（水）	第1回策定会議	計画策定までのスケジュール確認 基本方針、方向性の確認 設計コンセプトの確認

6月23日(木)	第2回策定会議	中央図書館の現状と課題の確認(施設面、運営面) 課題解決の方向性 リニューアル計画のコンセプト、整備内容のまとめ
7月13日(水)	第3回策定会議	基本方針、方向性について リニューアル平面イメージ図の検討
7月17日(土) 7月25日(月)	市民懇談会&バックヤードツアー	
7月27日(水)	第4回策定会議	市民懇談会での意見のまとめ 平面イメージ図の検討
8月10日(水)	第5回策定会議	平面イメージ図の検討
8月24日(水)	第6回策定会議	平面イメージ図の微調整と最終確認
11月24日(木)	第9回検討チーム	計画の文言整理
2月24日(金)	第10回検討チーム	計画の内容確認

*検討チーム：図書館職員をメンバーとし、中央図書館のあり方について検討を行った。

*策定会議：検討チームのメンバーに委託業者である(株)スタッドが加わり、中央図書館のリニューアルについての検討を行った。

9 その他

(1) 市内団体へのリサイクル図書配布

配布先	施設数	配布数
公共施設等	2施設	830冊
児童施設	23施設	2,021冊

(2) 実習生(大学生以上)受入

期 間	団体・学校名	学年等	目的	人数
8月16日(火) ～28日(日)	明星大学・中央大学・ 明治大学	4年1名 3年2名	図書館実習	3人
8月29日(月) ～30日(火)	日野市内中学校教諭	平山中	教員10年研修	1人
2月6日(月) ～19日(土)	実践女子大学	3年	図書館実習	1人

(3) 市内大学へ講師派遣

実施日	学校名	内容
11月22日(火)	実践女子大学	ブックトーク実演
11月29日(火) 12月8日(木)	明星大学	ブックトーク実演

<参考資料>

Ⅱ．日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱

平成21年3月31日
制定

(目的)

第1条 この要綱は、図書館法（昭和25年法律第118号）第7条の3に規定する、図書館の運営の状況に関する評価等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 日野市立図書館（以下「図書館」という。）は、毎年1回、図書館の運営状況について評価を行う。

(評価の方法)

第3条 図書館は、図書館協議会の意見を聞きながら、評価を行うものとする。

(教育委員会への報告書の提出)

第4条 図書館は、評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出する。

(評価結果の公表)

第5条 図書館は、評価の結果を市民に公表する。

(評価結果の活用)

第6条 図書館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

(庶務)

第7条 評価に関する庶務は、図書館庶務整理係において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、図書館長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

< 参考資料 >

Ⅲ. 図書館協議会委員名簿

委員長	大杉 宏光		社会教育の関係者
副委員長	田代 守		社会教育の関係者
委員	紺野 順子		学識経験者
委員	塚原 博		学識経験者
委員	阪田 幸子	平成29年3月31日まで	学校教育の関係者
	小林 洋之	平成29年4月 1日から	
委員	高橋 清吾		学校教育の関係者
委員	山上 貴久	平成28年5月12日から 平成29年6月18日まで	家庭教育の向上に資する活動を行うもの
	黒川 洋美	平成29年6月19日から	
委員	田中 正昭		公募による市民
委員	玉城 恵子		公募による市民

任期 自 平成28年4月15日
至 平成30年4月14日

平成 29 年度
日野市立図書館の運営の
状況に関する評価書

(平成 28 年度事業)

くらしの中に図書館を
—市民に役立ち、共に歩む図書館—

平成 29 年 9 月

日野市立図書館

〒191-0053 東京都日野市豊田 2-49-2

電話 042-586-0584